

ゆきあかりの会 お知らせ No.72

2016年7月31日



♡ゆきあかりの会の集いへご参加くださった皆様へ♡

明日から8月。この地方の人にとっては、8月はお盆があり、《鎮魂の月》ですね。今夏、初盆を迎えられる人もおいでになると思います。何度目かのお盆を迎えても、今もなお、深い悲しみの中で過ごしていらっしゃる方もおいでになるでしょうし、中には、少しずつ前を向いて、新しいご自分の道を歩み始めていらっしゃる方もおいでになるかもしれませんね。かけがえのない人を亡くした悲しみは、人それぞれの想いがありますし、他の人はこうだからと言って、自分が同じ想いになるとは限らないものです。悲しみの感じ方や表し方、日々の過ごし方もお一人お一人異なりますよね。逝かれた人達は、きっと私達に、そしてこの世に多くの、そして様々な想いを残していらしたと思います。

この世に遺された私達は、その想いの一つでも感じとり、故人の想いを少しでも、自分がこれから生きていく志にできれば・・・と私は思っています。

故人にはこの世でもう生きられなかった《未来》を、遺された私達が繋いでいければ・・・と、私はいつも思っています・・・。

そんなことを8月を前にして改めて感じています。皆様はいかがでしょう？



★次回のゆきあかりの会の日程

【日程と会場】

第64回 2016年9月11日(日)昭和生涯学習センター3階第3集会室

〒466-0023 名古屋市昭和区石仏町1-48 (地下鉄鶴舞線及び桜通線「御器所(ごきそ)」駅下車)

★ 会場への交通案内は次ページの地図をご覧くださいね！！

【時間】 **13時30分に開始し**、遅くとも16時前までには終了致します(受付:13時15分～)。

【ご参加のお申し込み方法】

① 参加のお申し込みは、**二日前の金曜日までに**、事務局:近藤宛てにお申し込みください。

2回目以降の方も、出席者数を把握する為にご連絡をくださいね♡

② 参加費はお一人1000円です。当日、会場の受付でお支払いください。



《昭和生涯学習センターへの案内図》



【交通機関のご案内】

- ◆地下鉄鶴舞線及びみぎ通線
「御器所」駅下車
②番出口から南へ300M
③番出口から南東へ300M
- ◆美い開始：13時30分～
(受付開始：13時15分～)
- ◆個人住宅やマンション等が並ぶ街の中にある、3階建てのレンガ色(茶色)の建物です。

《つらくてたまらなくなった時に…、『電話相談』のご案内》

相談の対象者	電話相談機関の名称	電話番号	相談曜日・時間等
どなたでも…	愛知県精神保健福祉センター 『心の健康電話相談』	052-971-9977	月・火・木・金曜日 13:00～16:00
どなたでも…	名古屋市精神保健福祉センター 『こころの健康電話相談』	052-483-2215	月～金曜日 12:45～16:45
どなたでも…	名古屋いのちの電話	052-971-4343	24時間 365日毎日(年中無休)
どなたでも…	あいちこころのほっとライン 365	052-951-2881	365日毎日 9:00～17:00
ご遺族はどなたでも…	ひだまりほっとライン	06-6882-1187	月・水・金曜日 10:00～15:00
どなたでも…	日本臨床心理士会 『臨床心理士による電話相談』	03-3813-9990	月・水・金曜日 9:00～12:00 (除祝日) 月～金曜日 19:00～21:00(除祝日)
自死遺族の方	グリーンケアサポートセンター 『自死遺族専用電話相談』	03-3796-5453	火・木・土曜日 10:00～16:00
過労死ご遺族の方	『過労死110番』	03-3813-6999	平日 10:00～12:00 13:00～17:00
交通事故死ご遺族の方	全国交通事故遺族の会 電話相談	03-3664-1065	火・木・土・日曜日 11:00～15:00

スタッフA の「喪失と音楽～純邦楽編②」

ゆきあかりの会のもう一人のスタッフAは、実はお琴の先生なのです！
お琴の師匠である彼女が、純邦楽曲の中から、死別の悲しみ表現した音楽をご紹介しますね。
第2回目の今回は、「眠れない夜の孤独感」を表した曲『磯千鳥』をご紹介します。

夜が寂しくてつらい時、眠れない時、深夜に覚醒してしまった時、亡き人の不在を痛感させられてしまう瞬間がありますね。

今回は、そんな時の心にも重なる歌をご紹介します。



「磯千鳥」 作詞：櫻枝山、作曲：菊岡揆校（三弦）・八重崎揆校（箏）、作曲：19世紀前半

<歌詞>

うたた寝の、枕に響く暁の鐘、実に儘ならぬ世の中を、何にたとへん飛鳥川、
昨日の淵は今日の瀬と、かはりやすきを変えるなど、契りしこともいつしかに、
身は浮き舟の楫を絶え、今は寄る辺もしら波や。

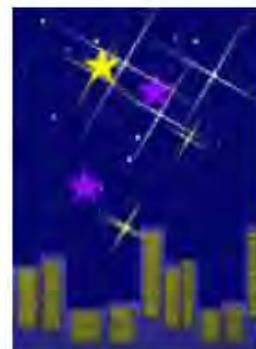
(間奏)

棹の雫か涙の雨か、濡れにぞぬれし濡れ衣、
身に沁むけさの浦風を、侘びつつや鳴く磯千鳥。



歌詞の成り立ちには諸説あり、亡き人への追悼の曲であるという説のほかにも、夫が毎夜のように家を空けることを嘆く女の悲しみをうたったものとも、源氏物語の須磨の巻の情景を表現したものともいわれています。

ここではこの歌を、死別を体験した人の言いようのない孤独感とさびしさを表しているものと捉えてアレンジし、ご紹介します。



眠れないまま 朝になってしまった 夜明けの鐘の音が 枕に響く
どうにもならないことを 例えるなら 飛鳥川
昨日 よどんでいた水が 今日 早瀬となって 流れ去っていく
世の中は きっとそういうものなのだけれど
だからこそ 私たちだけは 絶対にかかわらずこいようねと 約束したのが いつだったのかも
もう思い出せなくて 私は オールを失くした小舟のように
どこへいったらいいのかも どうしたらいいのかも わからなくなってしまった
オールにつたう滴だろうか それとも 私が流した涙だろうか
ずぶぬれになった 私の心には 海風が 沁みる
浜辺で鳴いている 鳥たちの声も さびしい
ただひたすらに さびしい

心象風景としてのその浜辺はきっと、鳥たちの鳴き声の他には何も聞こえないほどの静けさで、ひとりぼっちで目覚めてしまっている夜の静寂は、そんなふうにしんとしているのでしょう。

また、鳥たちの悲しげな鳴き声が、本当は泣き叫びたい自分自身の嘆きに重なるのかもしれない。



『名古屋市 暮らしとこころのお悩み無料相談会』のご案内

弁護士が対応する暮らしの悩み、臨床心理士が対応するこころの悩みについての、名古屋市主催の『無料相談会』が8月下旬に開催されますので、皆様にご案内いたします。

1. 日時 平成28年8月27日土曜日 午後1時30分～午後4時30分
(お一人40分程度)
2. 会場 大一名駅ビル3階 名駅プレミア会議室
(中村区名駅4-5-27、ユニモール7番出口すぐ)
3. 対象 名古屋市在住 または 名古屋市在勤(学)の方
4. 予約受付開始 7月11日(月)午前9時から 先着順
5. 予約先 TEL 052-972-2283 / FAX 052-951-3999



受付時間：月～金曜日(祝休日除) 午前9時～午後5時

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課

暮らしの悩み 相談員: 弁護士
◆多重債務やローンなどの借金の返済に関する事
◆その他法律問題に関する事 など

こころの悩み 相談員: 臨床心理士
◆仕事上の悩みやストレス
◆職場や家族等の人間関係
◆思春期の子どものおこころ など



悲惨な、信じられない事件が起きましたね。突然、理不尽にも、あり得ないような理由で愛する家族を奪われたご家族の皆様は、今、どんなにか悔しさと怒りと悲しみの中にいらっしゃるか…。

私達の社会は、本当に様々な人達から成り立っていますね。

障害があろうが無かろうが、病気だろうが無かろうが…、富んでいたりが貧しかったり…、皮膚や髪の毛の色も様々であったり、価値観も信条も信仰心も好き嫌いも様々であったり…。

かけがえのない愛する人を亡くした体験を持つ私達は、一人一人の命がどんなにいとおしくて、尊厳にあふれている存在なのか…、痛いほど、感じていると思います。本当にいとおいしい…。

人間、そして動物達の命の尊厳が守られる世の中になればと…、改めて心から思います。 近藤浩子

<ゆきあかりの会 事務局>

代表 近藤浩子(臨床心理士)
FAX 020-4669-4206

Phone 090-3909-4515

e-mail yukiakainokai@yahoo.co.jp

<ゆきあかりの会>ホームページ

<http://will.obi.ne.jp/yukiakari/>

